

第10回 惇明懇話会 18名参加
平成30年2月23日 19:00~20:00 於: 惇明東公会堂

主な話し合いの内容 (★=団体、◎=市長)

★惇明懇話会でまちづくりミーティングを実施するにあたり、会員より意見募集したところ、多岐に渡るテーマが寄せられた。1時間という限られた中で全て議論はできないので、今日は合併10年を迎えた福知山市の財政と今後について絞って話し合いたい。

◎本日、議会に平成30年度予算案を提案した。当初予算の一般会計総額は404億4千万と前年比9億6千万円の増となっている。これは、平成31年度までの完成を目指している総合治水対策事業、三和や六人部などの学校統合にかかる整備費用、消防団車両の整備費用など投資的事業が15億2千万円増加したためであり、実質的には大変厳しい財政状況の中で予算編成をしたものである。

★市長は大きな災害もあった後で大変厳しい時に就任されたと思っている。次年度予算は105事業をカットされたとのことで、市の将来に向け苦渋の選択をされたと考えている。福知山市は人口のわりに財政規模は大きい都市である。財政厳しいということは解るが、実際にどの程度であるのか、具体的な指数をあげて、府内他都市との比較等から教えていただきたい。

◎福知山市の市税収入割合は例年29%前後、地方消費税交付金などを含めたいわゆる自身で稼ぐお金、自主財源割合が他の自治体に比べて低い。タバコ税は1億5千万円の減を見込んでいるほか、市税収の伸びは期待できない状況である。

◎国からの地方交付税については、合併により上乗せがあり、一番多いときでは上乗せ額が19億円位あったが、段階的に削減され平成32年度で上乗せ分は完全に無くなる見込みである。

地方交付税額そのものは平成29年度より増加しているが、合併特例債など、国が肩代わりしてくれる有利な借金の国負担分を地方交付税として受け取るもので実質的には減額となっている。

◎社会保障関係に使う扶助費、借金返しの「公債費」など経常的に使う経費は右肩上がりに増加している。この経常経費を先に申し上げた自主財源と交付税額で割ったものが経常収支比率であるが、平成28年度福知山市は96.8、仮に合併による交付税の上乗せが無かったとしたら101になる。

◎経常収支比率は100を超えると投資的事業が何も出来ないことになり、低い方が好ましい。府内では南部で99.7、99.5という数値の都市もある。福知山市順位は中央くらいに位置しておりそんなに心配する必要はないと考えられるかもだが、101という数値を重く見て、できるだけ事業を効率化して支出を減らすとともに、ふるさと納税はじめ、収入を多くするべく努めている。

★ふるさと納税の額は

◎平成28年度に、インターネットサイトでの受付も新規開始し、約1億1千万円の寄付をいただいた。返礼品の支出もあり全額収入ということではないが、今後とも多数の寄付をいただけるよう努めたい。また、企業版のふるさと納税制度も創設されたのでそちらも依頼しているところである。



★経常収支比率以外の指数はどんなものがあるか

◎「実質公債費比率」は、基準財政収入額の中の公債費（＝借金）の占める割合を表すもので18%を超えると知事の許可を得ないと借金できず、35%を超えると再生計画を作らなければならないが、28年度予算で11.1%。公債費には企業会計分も含まれており、市立病院のあるなしなどで大きく変わるので一概に比較は出来ないが府内11位。基準財政収入額を基準財政需要額で割り、1以上の場合には財政に余裕があるので国からの交付税が出なくなる。「財政力指数」は0.54これも府内では中央程度である。福知山市の財政構造上この数値の改善は難しいが、少しでも歳入を増やし歳出を減らす努力をしていく所存である。市民の皆様にも御協力願いたい。

★職員給与を国との対比で示す「ラスパイレス指数」はどうか？

◎現在100.5である。府内で100を超えているのは6市である。

★100を超えているということは国より多いということなので、市民が納得できるよう努めていただきたい。議会の議員数も次回より2減になるとのことだが、良いことだと考えている。

◎議員数に関しては私の立場から申し上げるべきではないが、私の給与も議会で承認いただき10%減にしている。職員給与についてももしっかり考えていきたい。

★財政が厳しいとはっきり今日教えていただいて良かった。市民としても市長が変わってから福祉バスを貸してもらえなくなった等憤慨することなく協力できるところはしていきたいと思う。

◎福祉バスの貸し出しについては予算というよりも市主催外の行事に市所有バスを貸し出すことが法的にグレーゾーンになることもあり老人クラブに対する補助形式に変更した。今まで出来ていたことが変わることは出てくるかと思うが御理解と御協力をお願いしたい。

★商店街でも空き家が目立つようになってきた。空家対策は今後どのようにされるか？

◎空家対策には、放置すると危険な特定空家と利活用が可能な空家の有効活用という2つの方向性がある。前者は空家対策協議会を立ち上げ代執行などについて現在検討中であり、後者は中心市街地空き家バンクと農山村空き家バンクという施策を実施し、希望者のマッチングをしているが、今後はこれまで対象になっていなかった地域も含めて一つの部署で行う予定である。

★監査委員制度について、予算決算は議会で可決されるが、その執行監査を議選の委員が行うことに若干疑問を感じる。大阪府では会計士など専門家が監査をするという話も聞くが市でも導入しては？

◎包括外部監査については、都道府県、政令市、中核市については法律で義務付けられている。福知山市のようなそれ以外の市でも導入されているところはあるが、数は少ない。費用対効果も含め検討を重ねていきたい。



★新年度より京都工芸繊維大学のキャンパスも出来ると聞くが、福知山公立大学についてはどうか？

◎元々の財政シミュレーションでは大規模改修費が年1千万程度等実費にそぐわない形であった。これらの修正も含め知の拠点整備構想を策定した。情報経営学部を新設し200名体制とする計画である。設置者としての責任はもちろんあるが、大学は大学法人でもあり、経営については法人でも頑張っていたいただき、北近畿唯一の大学として存在価値を高められたい。